

日本感染管理ベストプラクティス “Saizen”研究会 新潟ワーキンググループ 2019年度開催報告

第1回ワーキンググループ

2019年6月1日(土) 参加施設 42施設 参加者 99名

午前の部は、日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会世話人の土井英史先生より、感染管理ベストプラクティスの考え方と最新の感染対策の話題をユーモアかつ惹きつけられるお話を聞かせていただきました。また、教育講演「感染管理の基本」は村上総合病院の田中CNICより講演いただき、実践報告「おむつ交換手順の見直し～正しいタイミングでの手指衛生を目指して～」では下越病院の五十嵐感染制御実践看護師より発表いただきました。

初めて参加される方がほとんどの中、感染管理ベストプラクティスに対するイメージを膨らませつつ、午後からは、施設で課題とされる作成テーマの現状をグループの参加者と真剣にディスカッションされておられました。



第1回WG 朱鷺メッセ会場

第2回ワーキンググループ

2019年9月4日(水) 参加施設 38施設 参加者 100名



第2回WG 朱鷺メッセ会場
グループワークの様子

第2回ワーキンググループは、平日開催となりましたが、ほとんどの参加者が前回に引き続き参加されました。取り組んでいるテーマに沿って、感染リスクを回避できかつ実現可能な方法について、ガイドラインの根拠を基にイラスト手順書の見直しと危害リストを作成しました。

危害リストの作成がこの感染管理ベストプラクティスで最も重要な作業になりますが、6月第1回の開催後に、危害リストはどのように作成すればよいの？など初めて感染管理ベストプラクティスに取り組まれた参加者やアドバイザーの先生方からも戸惑いの声がきかれました。危害リスト作成方法については、

参加者に支援が行えるようアドバイザーの先生方も共通理解をもち、第2回ワーキンググループに臨みました。

出来たところまでが形になるというのが、感染管理ベストプラクティスの良いところなので継続して第3回も参加してくださいねと、多くのグループのアドバイザーの先生方が参加者に声掛けを行っておりました。

第3回ワーキンググループ

2019年12月7日(土) 参加施設 36施設 参加者 89名

第3回は、現場で行った教育方法や手順の遵守調査の結果についてグループ内で発表しました。後半は各グループの代表者により全10題の実践報告を行っていただきました。総合討論・全体ディスカッションの座長は、県立十日町病院の菅井CNICと新潟臨港病院の廣川CNICに担当いただきました。当日いきなりの発表となり緊張される方もおりましたが、発表シートやパワーポイントを駆使し、どの施設も素晴らしい取り組みを発表されていました。ワーキンググループの締めくくりとして、第1回で講演された日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会世話人の土井先生より「感染管理ベストプラクティスを医療機関・福祉施設で推進するための戦略」についてご講演いただきました。現場のスタッフの行動変化と継続のために今後も感染管理ベストプラクティスに取り組む意義を参加者で共有できたと思います。来年も是非参加したいという嬉しい言葉もたくさん聞かれ、半年を通し有意義な開催となりました。



第3回WG
新潟テルサ会場
全体発表・総合討論